

24

1 イエスが宮から出て行くとしておられると、弟子たちは近寄ってきて、宮の建物にイエスの注意を促した。
 2 そこでイエスは彼らにむかつて言われた、「あなたがたは、これらすべてのものを見ないか。よく言っておく。その石一つでもくずされずに、そこに他の石の上に残ることもなくなるであろう」。

3 またオリブ山ですわつておられると、弟子たちが、ひそかにみもとにきて言った、「どうぞお話しください。いつ、そんなことが起るのでしょうか。あなたがまたおいでになる時や、世の終りには、どんな前兆がありますか」。

4 そこでイエスは答えて言われた、「人に惑わされないように気をつけなさい。
 5 多くの者がわたしの名を名につて現れ、自分がキリストだと言つて、多くの人を惑わすであろう。
 6 また、戦争と戦争のうわさとを聞くであろう。注意していなさい、あわててはいけな。それは起らねばならないが、まだ終りではない。
 7 民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。またあちこちに、ききんが起り、また地震があるであろう。
 8 しかし、すべてこれらは産みの苦しみの初めである。

9 そのとき人々は、あなたがたを苦しみにあわせ、また殺すであろう。またあなたがたは、わたしの名のゆえにすべての民に憎まれるであろう。
 10 そのとき、多くの人がつまずき、また互に裏切り、憎み合うであろう。
 11 また多くのにせ預言者が起つて、多くの人を惑わすであろう。
 12 また不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えるであろう。
 13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。
 14 そしてこの御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。

24

15 預言者ダニエルによつて言われた荒らす憎むべき者が、聖なる場所に立つのを見たならば（読者よ、悟れ）、
 16 そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。
 17 屋上にいる者は、家からものを取り出そうとして下におりるな。
 18 畑にいる者は、上着を取りにあとへもどるな。
 19 その日には、身重の女と乳飲み子をもつ女とは、不幸である。
 20 あなたがたの逃げるのが、冬または安息日にならないように祈れ。
 21 その時には、世の初めから現在に至るまで、かつてなく今後もないような大きな患難が起るからである。
 22 もしその期間が縮められないなら、救われる者はひとりもないであろう。しかし、選民のためには、その期間が縮められるであろう。

23 そのとき、だれかがあなたがたに『見よ、ここにキリストがいる』、また、『あそこにいる』と言つても、それを信じるな。
 24 にせキリストたちや、にせ預言者たちが起つて、大いなるしるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。
 25 見よ、あなたがたに前もつて言っておく。
 26 だから、人々が『見よ、彼は荒野にいる』と言つても、出て行くな。また『見よ、へやの中にいる』と言つても、信じるな。
 27 ちょうど、いなすが東から西にひらめき渡るように、人の子も現れるであろう。
 28 死体のあるところには、はげたかが集まるものである。
 29 しかし、その時に起る患難の後、たちまち日は暗くなり、月はその光を放つことをやめ、星は空から落ち、天体は揺り動かされるであろう。
 30 そのとき、人の子のしるしが天に現れるであろう。またそのとき、地のすべての民族は嘆き、そして力と大いなる栄光とをもつて、人の子が天の雲に乗つて来るのを、人々は見るとであろう。
 31 また、彼は大きいなるラツパの音と共に御使たちをつかわして、天のはてからはてに至るまで、四方からその選民を呼び集めるであろう。
 32 いちじくの木からこの譬を学びなさい。その枝が柔らかになり、葉が出るようになると、夏の近いことがわかる。
 33 そのように、すべてこれらのことを見たならば、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。
 34 よく聞いておきなさい。これらの事が、ことごとく起るまでは、この時代は滅びることがない。
 35 天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。

36 その日、その時は、だれも知らない。天の御使たちも、また子も知らない、ただ父だけが知っておられる。
37 人の子の現れるのも、ちょうどノアの時のようであるう。
38 すなわち、洪水の出る前、ノアが箱舟にはいる日まで、人々は食い、飲み、めとり、とつきなどしていた。
39 そして洪水が襲ってきて、いつさいのものをさらって行くまで、彼らは気がつかなかった。人の子の現れるのも、そのようであろう。
40 そのとき、ふたりの者が畑にいと、ひとりを取り去られ、ひとりを取り残されるであろう。
41 ふたりの女がうすをひいていると、ひとりを取り去られ、ひとりが残されるであろう。
42 だから、目をさましていなさい。いつの日にあなたがたの主がこられるのか、あなたがたには、わからないからである。

43 このことをわきまえているがよい。家の主人は、盗賊がいつごろ来るかわかっているなら、目をさましていて、自分の家に押し入ることを許さないであろう。
44 だから、あなたがたも用意をしないなさい。思いがけない時に人の子が来るからである。
45 主人がその家の僕たちの上に立てて、時に応じて食物をそなえさせる忠実な思慮深い僕は、いつたい、だれであろう。
46 主人が帰ってきたとき、そのようにとめているのを見られる僕は、さいわいである。
47 よく言っておくが、主人は彼を立てて自分の全財産を管理させるであろう。
48 もしそれが悪い僕であつて、自分の主人は帰りがおそいと心の中で思い、
49 その僕仲間をたたきはじめ、また酒飲み仲間と一緒に食べたり飲んだりしているなら、
50 その僕の主人は思いがけない日、気がつかない時に帰ってきて、
51 彼を厳罰に処し、偽善者たちと同じ目にあわせるであろう。彼はそこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。

25

1そこで天国は、十人のおとめがそれぞれあかりを手にして、花婿を迎えに出て行くのに似ている。
 2その中の五人は思慮が浅く、五人は思慮深い者であった。
 3思慮の浅い者たちは、あかりは持っていたが、油を用意していなかった。
 4しかし、思慮深い者たちは、自分たちのあかりと一緒に、入れものの中に油を用意していた。
 5花婿の来るのがおくれたので、彼らはみな居眠りをして、寝てしまった。
 6夜中に、『さあ、花婿だ、迎えに出なさい』と呼ぶ声がした。
 7そのとき、おとめたちはみな起きて、それぞれあかりを整えた。
 8ところが、思慮の浅い女たちが、思慮深い女たちに言った、『あなたがたの油をわたしたちにわけてください。わたしたちのあかりが消えかかっていますから』。
 9すると、思慮深い女たちは答えて言った、『わたしたちとあなたがたとに足りるだけは、多分ないでしょう。店に行つて、あなたがたの分をお買いになる方がよいでしょう』。
 10彼らが買いに出ているうちに、花婿が着いた。そこで、用意のできていた女たちは、花婿と一緒に婚宴のへやにはいり、そして戸がしめられた。
 11そのあとで、ほかのおとめたちもきて、『ご主人様、ご主人様、どうぞ、あけてください』と言った。
 12しかし彼は答えて、『はつきり言うが、わたしはあなたがたを知らない』と言った。
 13だから、目をさましていなさい。その日その時が、あなたがたにはわからないからである。

25

14また天国は、ある人が旅に出るとき、その僕どもを呼んで、自分の財産を預けるようなものである。
 15すなわち、それぞれの能力に応じて、ある者には五タラント、ある者には二タラント、ある者には一タラントを与えて、旅に出た。
 16五タラントを渡された者は、すぐに行つて、それで商売をして、ほかに五タラントをもうけた。
 17二タラントの者も同様にして、ほかに二タラントをもうけた。
 18しかし、一タラントを渡された者は、行つて地を掘り、主人の金を隠しておいた。
 19だいたい時がたつてから、これらの僕の主人が帰つてきて、彼らと計算をしはじめた。
 20すると五タラントを渡された者が進み出て、ほかの五タラントをさし出して言った、『ご主人様、あなたはおわたしに五タラントをお預けになりましたが、ごらんのとおり、ほかに五タラントをもうけました』。
 21主人は彼に言った、『良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であつたから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ』。
 22二タラントの者も進み出て言った、『ご主人様、あなたはおわたしに二タラントをお預けになりましたが、ごらんのとおり、ほかに二タラントをもうけました』。
 23主人は彼に言った、『良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であつたから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ』。
 24一タラントを渡された者も進み出て言った、『ご主人様、わたしはあなたが、まかない所から刈り、散らさない所から集める酷な人であることを承知していました。そこで恐ろしさのあまり、行つて、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。ごらんください。ここにあなたのお金がございます』。
 25すると、主人は彼に答えて言った、『悪い怠惰な僕よ、あなたはわたしが、まかない所から刈り、散らさない所から集めることを知っているのか』。
 26それなら、わたしの金を銀行に預けておくべきであつた。そうしたら、わたしは帰つてきて、利子と一緒にわたしの金を返してもらえたであらうに。
 27さあ、そのタラントをこの者から取りあげて、十タラントを持つている者にやりなさい。
 28おおよそ、持っている人は与えられて、いよいよ豊かになるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられるであらう。
 29この役に立たない僕を外の暗い所に追い出すがよい。彼は、そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであらう』。

31人の子が栄光の中にすべての御使たちを従えて来るとき、彼はその栄光の座につくであろう。

32そして、すべての国民をその前に集めて、羊飼が羊とやぎとを分けるように、彼らをより分け、

33羊を右に、やぎを左におくであろう。

34そのとき、王は右にいる人々に言うであろう、『わたしの父に祝福された人たちよ、さあ、世の初めからあなたがたのために用意されている御国を受けつぎなさい。

35あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ、かわいていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し、

36裸であったときに着せ、病気のときに見舞い、獄にいたときに尋ねてくれたからである』。

37そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。

38いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し、裸なのを見て着せましたか。

39また、いつあなたが病気をし、獄にいたのを見て、あなたの所に参りましたか』。

40すると、王は答えて言うであろう、『あなたがたによく言っておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである』。

41それから、左にいる人々にも言うであろう、『のろわれた者どもよ、わたしを離れて、悪魔とその使たちとのために用意されている永遠の火にはいつてしまえ。

42あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせず、かわいていたときに飲ませず、

43旅人であったときに宿を貸さず、裸であったときに着せず、また病気のときや、獄にいたときに、わたしを尋ねてくれなかったからである』。

44そのとき、彼らもまた答えて言うであろう、『主よ、いつ、あなたが空腹であり、かわいておられ、旅人であり、裸であり、病気であり、獄におられたのを見て、わたしたちはお世話をしませんでしたか』。

45そのとき、彼は答えて言うであろう、『あなたがたによく言っておく。これらの最も小さい者のひとりになかったのは、すなわち、わたしにできなかったのである』。

46そして彼らは永遠の刑罰を受け、正しい者は永遠の生命に入るであろう』。